



瓊浦高等学校 学校通信 第 114 号

令和4年2月28日発行 電話 095-826-1261

FAX 095-820-5245



「梅は百花の魁」



教頭 佐藤 一司

2月も下旬となり、厳しい寒さは残るものの、日差しは日ごとに暖くなり、知らぬ間に校内の梅の花も咲き始め、少しずつですが春の萌しを感じることができるようになってきました。気づいてみれば、もう春はすぐそこまで近づいているようです。

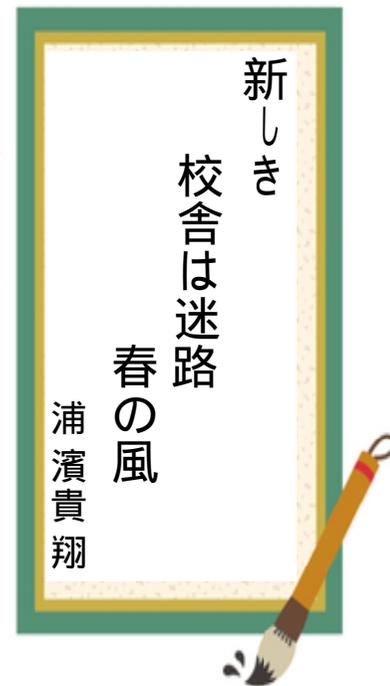
ところで「梅は百花の魁」という言葉があります。簡単に言うと、「梅の花は未だ厳しい寒さが残る中であっても、色々な花よりも先だって花を咲かせる。」という意味でしょうか。私の勝手な解釈ですが、これを人に当てはめると「厳しい環境の中で何かを成し遂げようとチャレンジできる人は、魁（リーダー）として、自分やその周りの人達に多くの成功と幸せをもたらすことができる。」という意味にとることができるのではないかと思います。（間違っていたら、すみません。）

さて、今年も間もなく3年生にとって新しいステージへの旅立ちのときがやってきます。卒業する286名の皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。今年も3年生の活躍は本当に素晴らしく、様々な分野で特筆すべきものが多かったように感じます。考えてみますと、今年度卒業していく3年生は、コロナ禍の中で沢山の我慢を強いられた学年であったと言えるでしょう。1年生の3学期頃より、長期にわたる臨時休校や短縮授業、体育祭、瓊浦祭等の様々な学校行事が中止や縮小となり、さらには高校生活の中で最も大きなイベントの一つである修学旅行の中止など、考えてみると高校生活の大半において、通常なら普通に行われていたことが全く経験できないまま卒業を迎えることになってしまいました。本当に残念でなりません。しかし、今年の3年生達は、様々な学校行事で制限された環境の中にもかかわらず、最後まで諦めることなく何事にもチャレンジし続け、最大限の努力をしてくれました。その姿は、誰から見ても格好良く、後輩達の眼にもしっかりと焼き付いてくれたと思います。厳しい環境でも頑張ることができた生徒達は正に「梅は百花の魁」だと思います。これまで苦労した中で経験してきたことを活かして更なる活躍をしてくれるものと確信しています。



情1A 浦濱 貴翔君「長崎新聞ジュニア俳壇 年間賞」受賞

長崎新聞に投稿された中高生の約1400句の中から優秀5句が選ばれる「長崎新聞ジュニア俳壇 年間賞」に、本校の浦濱 貴翔君(情1A)の句が選出されました！その句は右にあるとおりですが、選考委員の方の寸評によると、「『迷路』の措辞が端的で、不慣れな新校舎を楽しむ様子を感じられます。春の風が作者のワクワク感を反映しています。」とのこと。17音の中に、新入生としての豊かな感情がありありと表れている素晴らしい句です。寒さの続く中で、春風のように暖かく、心躍るような知らせを受けることができました。



学年末考査

2月21日(月)から2月25日(金)までの、祝日を挟んだ4日間で、学年末考査が行われました。今年度5回にわたって行われてきた定期考査も、これで最後です。今回の考査でも、放課後勉強会を行ったり、先生に質問しに行き個別指導を受けたりと、一生懸命学習に取り組む姿がよく見受けられました。

この考査が終わったことで、いよいよ令和3年度も残すところわずかとなりました。様々な行事が中止・延期となった今年度ですが、その中でも生徒達はたいへん明るく、前向きに過ごしていたように思われます。一ヶ月後には学年が一つ上がります。残る数週間を、ぜひ有意義なものにしてほしいところです。

長崎県スポーツ表彰

令和3年度の長崎県スポーツ表彰にて、本校の 荒木 康正先生、林 貴昭先生、田中 市之介 君(普3D)が表彰を受けました。また、本校出身で昨年のパラリンピックに卓球代表として出場した浅野俊さん(PIA)、全日本学生バドミントン大会で第2位の町田脩太さん(早稲田・1年)もそれぞれ表彰されています。

【長崎県スポーツ表彰】敬称略

長崎県体育功労賞

(一社)長崎県水泳連盟副理事長 荒木 康正

長崎県スポーツ功労顕彰(部活動)

瓊浦高等学校バドミントン部顧問 林 貴昭

長崎県スポーツ賞(個人の部)

瓊浦高等学校3年 田中 市之介(普3D)

早稲田大学1年 町田 脩太(OB)

長崎県スポーツ特別賞

PIA(株) 浅野 俊(OB)

情報ビジネス科 課題研究発表会

1月31日(月)に情報ビジネス科の課題研究発表会が行われました。今年度も、様々な活動を多岐にわたって行ってきた情報ビジネス科。生徒達によって、その活動それぞれの成果が報告されました。発表されたのは、検定取得状況 3年生進路状況 商品開発 サイバーセキュリティ ボランティア 2年生インターンシップ の5項目です。以下に概略を記します。

検定取得状況

今年度は本校初となる6種目1級達成者が出るなど、大きな成果を挙げています。その他にも、4種目1級達成が2名、3種目1級達成が3名となっています。

3年生進路状況

長崎大学、長崎県立大学など、進学は33名。県内外合わせて就職は23名が内定しています。

商品開発

今年度「ご当地！絶品うまいもん甲子園」で決勝大会に進出し、東京まで参戦に行ったのは記憶に新しいところです。それ以外にも、1月8日(土)に平和町のシェアキッチン「くるね こんね」にて高校生チャレンジショップに参加し、「原石シュー」「あんガト」をはじめとしたオリジナルスイーツを販売しました。



サイバーセキュリティボランティア

6月の県警からの交付式以後、着実に準備を行い、小学校・中学校での活動も成功。メディア安全教育に一役買うことができました。今後も行っていく上で重要だと感じているのは、しっかりとした資料作りと、質問に答えられるだけの知識獲得です！



2年生インターンシップ

今年度は、コロナの影響で飲食店等での体験はできませんでした。しかしながら、限られた中でも2年生は一生懸命取り組み、働くということの意義を大いに実感することができました。インターンシップは、事前の電話による交渉等を自分で行います。高校卒業後すぐ、もしくは数年で社会人となる身としては、非情に有意義な体験です。1年生の情報ビジネス科生徒も、いよいよ来年度にインターンシップです。今のうちから、どの企業で何を体験し、そして何を得たいかを考えておきましょう。

記念植樹

2月24日(木)、この春卒業する3年生の代表者数名によって、記念植樹が行われました。今年度植えられたのは「ウメ」の木。本通信の表紙「瓊浦の窓」にもあるとおり、何事においてもチャレンジし続けて素晴らしい結果を残した「百花の魁」たる3年生を体現したと言える木です。旅立つ3年生の思いを受けて、これから元気に成長し、事務室横の植樹場所にその立派な姿を見せ続けてくれることでしょう。大きくたくましく育っていく様子を、温かく見守っていきたいと思います。



模擬面接

2月27日(日)、1・2年生の登校日であるこの日に、2年生を対象とした模擬面接が行われました。見事進路実現を果たした3年生が、本番を想定した面接の様子を、進学と就職の部門ごとに分けてそれぞれ実演してくれました。実際に試験があったのは数か月前ですが、3年生は全員お手本となるような受け答えで、まさに「合格者」の姿というものを下級生に見せてくれました。2年生も、たいへん真剣に面接の様子を目に焼き付けていました。

年度が変わると、いよいよ現2年生の番です。高校で取り組んできた学習、部活動、行事...。様々な経験が、希望の進路実現に繋がります。この模擬面接で、どういう受け答えが合格に結びつかかを把握できたと思います。あとは、その答えを引き出せるだけの経験を、学校生活の中でできるかどうかです。魅力的な3年生として試験に臨む姿が今から楽しみです。



《3月の行事》(再掲)

- 1日(火) 卒業証書授与式(3年生のみ)
- 2日(水) 振替休日(2/27)
- 5日(土) 対外実力(2年)
- 6日(日) 危険物取扱者試験
- 14日(月) 写真撮影(1・2年、~15日) 教科書販売
- 15日(火) 進路ガイダンス(1年) 第5回進路模試
- 17日(木) 美術館見学(美術履修クラス)
- 18日(金) 終業式

【部活動戦績】

水泳部

第42回九州カップ水泳競技大会

17歳以上の部

竹野 友貴(機3B)

第2位

1・2年生の保護者の皆様

3月14日(月)の教科書販売では、「教科書代」と「補助教材代」を別々に、釣り銭のないようご準備ください。金額等については、別途案内があります。